

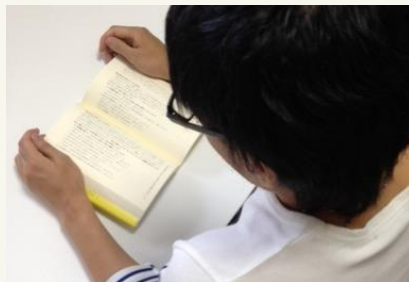
上野誠が明かす「スマホぽちぽちビジネス」への道

ネットビジネスで紆余曲折してきた男が明かす「本当に稼げる」最新ビジネスとは

Web ビジネスクリエイター

上野誠 (HN:ハルキン)

「あなたは自分が夢見た自分以上にはなれない」



30代、地方在住。

2007年から本格的にネット業界に参入。

現在ネットビジネスの累計収入は「1億円」以上。

これまでに情報商材を「200万円分」以上買い漁り、あらゆるネットビジネスを知り尽くした男。

その中でも本当に稼げる情報は一握りである事を痛感し、本質的な稼ぐための情報を発信し続けている。



■主な活動：

主に、ブログやメルマガでネットビジネスに関する情報発信を行っております。
また、ネットを活用した店舗集客、コピーライティングのコンサルティングなども請け負っています。

こんにちは、上野誠です。
ネットでご飯を食べている 30 代男です。

このレポートを開いて頂き誠にありがとうございます。

もしもあなたが「ネットで稼ぐ」という事に興味をお持ちでしたら、是非さいごまで読んで欲しいと思います。

このレポートでは数十万円のお金をネットで稼ぐ方法をご紹介します。

でもその前に。

まずは私がネットビジネスに出会ったいきさつについて、簡単にご紹介させて頂きたいと思います。

落ちこぼれ・・・上野誠ストーリー

ネットビジネス前夜

すこし時間をさかのぼって、私がネットビジネスに出会うきっかけについてお話しします。

私が 20 代の頃の話です。

当時は「就職氷河期」という言葉が

すでに流行りだした時代でした、

専門学校を出ただけの私は例に漏れず、一瞬にしてプータロー（無職）になりました。

ろくな学歴をもっていなかった私は、どこにいてもお払い箱でした（笑）

普通に 10 社 20 社は落ちたと思います。

当時の私はそもそも「社会に出てなにかをしたい・・・」などのようなビジョンも待って
いなかったものですから、就職するという選択自体も「なんとなく・・・」という感じで
やっていました。

そんな気持ちでしたから、受かるものも受かるわけがありません。

結局私は、就職を諦め地方の実家に帰り、
地味にバイトをして食いつなぐことにしました。

ですが地方の田舎なので・・・そもそもろくに仕事もありません。

とにかくバイトや派遣で色々な仕事を経験しました。
それからは毎日がバイトと自宅の往復で人生がすり減って行きます。

毎日毎日朝 6 時に起きて 18 時まで。近所の食品工場で働きました。

それで貰える給料は、月収 13 万ぐらいだったと思います。
絵にかいたような、田舎のフリーターですね。

勿論、実家にいたのでお金に困るという事はありませんでしたが・・・

それでも「一体自分は何のために生きているのか？」
と思い悩むことはしょっちゅうありました。

**「俺の人生は、毎日ひたすら工場に通い
誰でも出来る単純作業を繰り返すだけの人生なのか・・・」**

そんな絶望感を感じる日々でした。

確かに、生きるだけなら月収 13 万あれば事足りるかもしれません。

工場に限らず、殆どの会社勤めをされている方は

その人生の大半の時間を会社の為に費やしていると思います。

そして、その人たちの中には誇りを持って仕事をしている人もいるでしょう。

そういう生き方が、正しいと信じて疑わない人もおられるでしょう。

しかし、日本という豊かな社会で「お金さえあれば」もっと自由に生きられて、自分の好きな「クリエイティブ」なことをして生きていくことも出来るはずだと思いましたが。

「お金と自由があれば、もっと自分らしく生きられるのに・・・」

食うために、やりたくないことを我慢し続けて一生が過ぎていくのなら、、それは本当に幸せなのでしょうか？

それはお金の為に、自分の人生を犠牲にしているのと同義ではないのでしょうか？

大人は「社会人とはそういうものだ」と言うかもしれませんが、私はその言葉にどことなく「諦め」の感情を読み取り、頑なに拒み続けました。

しかし現実には「諦めろ諦めろ」と襲いかかってきます。

20代の頃の私の日々は、生きるために、朝6時から夜18時まで働き、疲れて帰り、飯を食べて発泡酒を流し込み、疲れ果てて寝て、朝起きて・・・会社と自宅の往復。ただただこの繰り返しでした。

確かに、生きることには事足ります。

しかし、私も生身の人間です。
やっぱり夢を見たかったです。

一度きりの人生が、ただ食うための労働で
毎日が過ぎ去って行くと思うと
無性に、無性に、悔しくて、悔しくて、

・・・泣けてくるのです。

今でこそ分かりますが、
“タイムイズマネー”ではなく、
“タイムイズライフ”なのです。
・・・時間は命そのものである。

なのに、その時間の殆どを労働に費やし、
貴重な 20 代の日々は無情に過ぎ去っていく・・・

当時は、私も 20 代でした。
20 代と言えば、沢山遊び、やりがいのある仕事を覚えて
人生を謳歌する時代だと思っていました。

しかし、現実には、泣けるくらい厳しかったのです。

希望の光り

そんな時です。何気なしにネットを見てみると

「アフィリエイトで月収 100 万円」

という文字が目に入ってきました。

その時初めて、
「パソコンがあれば自宅で稼げる」
「ネットビジネス」という言葉を知ったのです。

しかし、当時の私と言えば、パソコンはネットとメールを扱える程度でした。
田舎なので、周りにネットで稼いでいる人や人脈も皆無です。

・・・正直、胡散臭いとも思いました。

しかし、自分にも可能性があったら
まさにネットビジネスしかないと思ったのです。

自分のこの状況を抜け出すすが何かあるとしたら
ネットで稼ぐしかない。

(これが俺の希望だ。)

「無理だ」
「胡散臭い」

と言う気持ちよりも、
「自分の人生を取り戻して 自由 になりたい」
と言う強い思いが勝ちました。

ネットビジネスの紆余曲折の時代

それからネットの世界に入りすんなりと稼げた。
・・・というわけではありませんでした。

私は最初に当時好きだった洋楽についてレビューするという
なんともマニアックな HP (ホームページ) を立ち上げました。

しかし、そのサイトでは AMAZON のアフィリエイト報酬で
月に 5000 円程度 稼ぐのが限界でした。

作業量が結構多い割に、月に 5000 円しか稼げないのは
さすがに割に合わないと思いました。

そこで次に行ったのは、「せどり」です。

いわゆる安く仕入れて、オークションなどで高く売る。というあれです。

確かに「せどり」は初心者でも容易に参加出来て、やれば稼げます。
しかし、私にはその作業が「面倒で苦痛なだけ」に感じてしまいました。

もちろん今でも「せどり」で数十万とか100万以上とかを稼いでいる人は私の知り合いにもいるのですが、、

ネットだけで完結しない分、インドア派の私には合っていないと感じました。

なので、結局その後は「アフィリエイト」の世界に戻って行ったのです。

アフィリエイトで稼ぐも・・・投資で失敗。

1年位するとアフィリエイトでまとまった金額を稼げるようになりました。そして調子に乗った私は次に「投資」に手を出すようになります。

その投資というのは、「私募ファンド」というものでした。

私募ファンドというのは簡単に言うと、お客のお金を預かって代わりに資金運用して増やしますよ。というやつです。

でも、これで失敗しました。そのファンドに預ければ年利50%の利益が出るはずでした。でも、預け先の会社の業績が悪化してお金を返してくれなくなりました。

その返ってこない金額は「200万円」です。

正直、かなり高い授業料です。

ただ少なくとも私はアフィリエイトで幾らか稼げるようになっていたのでなんとか正気を保つことが出来た訳ですが・・・。

アフィリエイトは難しい

このように書くと、アフィリエイトって魅力的だなと感じるかもしれません。

でも、私の正直な気持ちは、

「アフィリエイトも簡単ではないよ」
というのが実のところですよ。

確かに、アフィリエイトはお金がほとんどかかずに稼げるので良いかもしれませんが。

ですが、稼げるまでの期間がけっこうかかります。
人によっては違うでしょうけど、私の場合は稼げるようになるまで1年以上の試行錯誤を要しました。

また時代によっては比較的楽に稼げてしまう手法もありますが、それらは中々長続きしません。

一つ例を挙げると、「ツイッターのアフィリエイト」です。

ツイッターアフィリエイトで最高月収 100 万円・・・しかし・・・

ツイッターは～2014 年くらいまでは比較的稼げるメディアでした。

当時最高月収は **100 万円**ほどになりました。

しかし、あまりにもアフィリエイト目的の参加者が増えたため、ツイッター社も様々な策を講じてきて、アフィリエイト自体が難しくなりました。

今でもツイッターで稼いでいる人はいると思いますが、それでもハードルは結構上がってしまったのは間違いないと思います。

何よりもツイッター用のツールなどを使うと、アカウントが凍結しやすくなってしまい、せっかく作ったアカウントが消えて、フォロワーもゼロになるという悲劇が多発したのです。。。

正直そんなメディアでは危なっかしすぎてビジネスを行うどころではありません・・・。

ですから私は次の新たな手法を模索しました。

ネットで稼ぐ新たな手法

2015年以降。私がたどり着いた新たな手法とは、「スマホぼちぼちビジネス」です。

これは初心者に向けて考案された手法で、開始初月から稼ぎ出すことが可能となります。

正直、これ以上のネットビジネスは無いと思います。

特に初心者にとってまず大事なのは

実際にネットで稼ぐ体験をすることです。

アフィリエイトは長い目で見れば良いのですが、なかなか稼げるまでに時間がある程度かかってくるのでモチベーション維持が難しくなります。

その点で、「スマホぼちぼちビジネス」は開始初月から報酬が発生します。

サイトやメルマガでも簡単に稼げると書いたと思いますが、本当に簡単なのです。

では何故簡単なのか。その報酬が発生する仕組みについて少しご説明したいと思います。

スマホ（PC）をぼちぼちするだけで稼げる訳

インターネットが普及した今、企業は従来の印刷物（新聞、雑誌）で広告宣伝することが減ってきています。テレビ業界も一昔前と比べると不況と言われています。

では企業の広告宣伝費はどこに向かったかと言うと、ご存知インターネットです。

以下の広告費の流れの変化を見て下さい。

●従来の広告費のお金の流れ

企業 → 広告代理店 → 消費者（私達）

●今の広告費の流れ

企業 ⇒ 消費者（兼）広告代理店（私達）

今はこのようになっているのです。

つまりネットの普及により、誰もが情報発信できるようになった時代においては、我々個人が消費者であり、広告代理店のようになっているのです。

- ・おいしいものを食べて「食べログ」に写真や口コミをのせる。
- ・商品を買ってアマゾンにレビューを載せる。
- ・ブログやフェイスブックで食べたもの、買ったものを紹介する。。。

そう、いつのまにか私たちは気づいてないだけで「広告代理店」になっていたのです(笑)

そして今から話すポイントが大事です。

この時代において顕著なのが、

直接消費者へ現金を還元する事により見込み客を獲得するという販促活動に移行している。と言う事です。

そこで私達は見込み客の段階（商品を買わない段階）にとどまり、一切リスクを背負う事なく企業からその販促費をガンガン獲得するわけです。

要するに、企業側は私たちに「この広告を見たら何円あげますよ。」とか、「●●をやってくれたら何円あげますよ」などなど・・・

我々に直接お金をくれると言ってくれている訳です。

そしてこれそれが、「スマホぼちぼちビジネス」における、
企業から私たちにお金が流れてくるおおまかな仕組みとなります。

良いですか。私たちは消費者であり、広告塔でもあるのです。
インターネットによって我々は知らないうちのそのパワー（影響力）を手に入れていま
した。

事実、個人の影響力というものはネットを介す事によって何倍にも膨れ上がるので、
我々は企業にとって単なる消費者以上の存在と捉えられているのです。

我々は消費者でもあり、広告塔でもある。

ハッキリ言って、この視点に気づくか・気づかないかが、
今後稼げるか稼げないかの分かれ道です。

稼ごうと思えば、あなたは今からでも明日からでも稼げます。
でも、知らなければただの消費者であり続けることとなります。

あなたはただの消費者でい続けたいですか？

それとも、消費者（兼）広告代理店になって、
企業から広告費を貰い受ける仕組みを手に入れますか？

あなたがやることは驚くほど簡単なことです。

「スマホぼちぼちビジネス」はその仕組みを
手に入れる方法をすべてあなたにお伝えします。

さいごに

最後までありがとうございました。

私のたどってきた道、そして「スマホぽちぽちビジネス」の仕組みについていろいろとお話しさせていただきました。

もしもネットで稼ぐことに興味がありましたら、是非今後届くメルマガも読んで下さいね。あなたが必ず稼げるようにサポートさせていただきます。

それではまた次回のメルマガでお会いしましょう！

PS

もし少しでもこのスマホビジネスに興味湧きましたら、アンケートに答えてください。

私はこの「スマホぽちぽちビジネス」が本当に意義のあるビジネスだと思っていますし、

お金を稼ぎたいと思われている方にとって非常に価値の高いものだと考えています。

しかし、それはあくまでも私の考えです。。
ですからあなたのご意見も聞かせてください。

私が考えているよりも、多く方に望まれていないのであれば情報配信の意味もありませんので、その時はメルマガもやめようと思います。

逆に、もしも多くの方に望まれているのであれば、今後のメルマガにてさらに詳しいお話をさせて頂こうと思います。

それではあなたの正直な思いをぶつけて下さい。
心よりお待ちしております。

「スマホぽちぽちビジネス」について感じたこと、

質問などこちらに投稿お願いします。



<http://lightning-info.com/blog/?p=164>

Web ビジネスクリエイター

上野誠